

伊藤穰一MITメディアラボ所長講演会

期 間：2017年7月27日(木)

場 所：経団連会館

講 師：伊藤 穰一 米マサチューセッツ工科大学 (MIT) メディアラボ 所長

経済広報センターは7月27日、米マサチューセッツ工科大学産業学際会 (MIT-ILP) との共催で、MITメディアラボの伊藤穰一所長を招き、急速に変化する経済社会で企業が国際競争に勝ち抜くための課題等に関する講演会を開催した。伊藤氏は、「変化の速い時代では、その時々に必要な人的・技術的リソースを柔軟かつスピーディーに組み合わせ、活用する能力が極めて重要である」と強調した。

MITメディアラボはコミュニケーションに使われるデジタル技術を既存の学問領域にとらわれず研究する機関であり、1985年に設立、現在、175名以上の研究者等が所属している。伊藤氏は、デジタルガレージやTwitterなど内外のIT企業の創業や発展に多く関わり、2011年に所長に就任した。

伊藤氏は、「インターネットの時代では、ネットワークやプロセッシングのコストの低下、オープンソースやフリーのソフトウェアの普及等により、イノベーションにかかる費用も大きく低下し、その結果、大学スピノフのベンチャーがますます大きな役割を果たすようになった」と説明。それを踏まえて「国際競争に勝ち残るのは、常に学び続け、新しい環境に対応し自らを変革できる企業のみである」とした。そのうえでイノベーションを推進し成功するためには、「綿密な計画を立て、精緻な管理のもと、必要な資金や人的資源を現場に提供する『Push』型ではなく、現場が主導権を握り、必要なリソースを柔軟に活用する『Pull』型のアプローチが重要だ」と述べた。



以 上